

第5回加須市魅力ある学校づくり審議会 次第

日 時：令和8年4月23日（木）
午後2時30分から
場 所：加須市役所4階 全員協議会室

- 1 開 会
- 2 任命書の交付
- 3 教育長あいさつ
- 4 会長あいさつ
- 5 副会長の選出
- 6 議 題
 - (1) 第4回審議会のおさらい
 - (2) 「魅力ある学校像」のキーワードと具体例について
 - (3) 主な学校形態の概要について
 - (4) 市域のブロック(エリア)分けの候補案について【グループ協議】
 - (5) 今後の取組について
- 7 閉 会

<配布資料>

○次第

○議題(1)関係

- 資料1 第4回審議会のおさらい
別紙 第4回審議会意見シート 主な意見等

○議題(2)関係

- 資料2 「魅力ある学校像」のキーワードと具体例について

○議題(3)関係

- 資料3 主な学校形態の概要について

○議題(4)関係

- 資料4 市域のブロック(エリア)分けの候補案について
図1 ブロック分け候補案①
図2 ブロック分け候補案②
図3 ブロック分け候補案③
図4 ブロック分け候補案④

○議題(5)関係

- 資料5 今後の取組について
資料6 基本計画(素案)の構成案

第4回審議会のおさらい

【議題】

- ①審議と同時並行で行ってきた意見募集等の結果について
- ②本市が目指す学校教育の姿の具体化について
- ③市域のブロック分け(検討単位)について【グループ協議】
- ④今後の取組について

議題① 審議と同時並行で行ってきた意見募集等の結果について

- ・「二十歳の集い参加者アンケート調査」「市立小中学校の校長・教員アンケート調査」「学校への基本方針出張説明」の実施結果について共有

議題② 本市が目指す学校教育の姿の具体化について

- ・校長・教員アンケート調査結果を反映した『魅力ある学校像』のイメージ具体化へのキーワード」や、校長・教員が考える望ましい学級規模・学校規模について共有

議題③ 市域のブロック分け(検討単位)について【グループ協議】

- ・3つのグループに分かれ、「市域をいくつかのブロック(エリア)に分けるとしたら、どのようなブロック分けが考えられるか。」をテーマにグループで話し合い、協議の結果を発表



グループ協議



グループ発表

議題④ 今後の取組について

- ・基本計画(素案)をまとめる予定時期について説明
- ・基本計画(素案)をまとめるに当たり、今後予定する「事前の意見募集」や「基本計画(素案)に対する意見交換会」の具体的な実施方法について、審議会で協議していくことの説明

第4回審議会意見シートの主な意見等について

- ・第4回審議会終了後、意見シートにより「ブロック(エリア)の設定に当たっての視点」や「事前の意見募集等の実施方法」について、委員の皆様のお考え等を伺った。その内容については「別紙」のとおり

【第4回審議会意見シート】主な意見等

ブロック（エリア）の設定に当たっての視点	<p>【ブロックの設定に当たっての視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の再編は、加須市のまちづくりと密接につながっており、それを踏まえ考える必要がある。 ・学級数や生徒数は基本になる視点だが、すべての学校で揃えなければならないわけではない。 ・まちなかの学校と郊外の学校では条件が異なるため、その違いを踏まえた学校再編を考えていくべき。 ・通学の負担が子どもたちの学びへの負担とならないよう、地域全体で支える体制が必要。 ・意見交換会等の際、行政側から財政面を踏まえた「加須市の今後の考え」を伝えるといいのでは。 ・「小学校の通学区域」は「中学校の通学区域」と連動していることから、学校形態の視点も含めた検討が必要になる。 ・ブロックの設定後、どのブロックを優先的に進めるべきか検討する必要がある。 ・地域の特色を残しつつ、柔軟性をもってブロックを設定することで、地域の方々にも理解してもらえるのではないか。 ・20年後には、交通インフラや働き方の変化があると思われる。例えば、自動運転が普及した場合、スクールバス等の問題は解消されるかもしれない。 <p>【ブロックの設定に関する具体的な提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区を単位としたブロックの設定 ・河川や線路、幹線道路をベースとしたブロックの設定 ・旧1市3町やコミュニティを中心としたブロックの設定 ・児童生徒数の推移をベースとしたブロックの設定
「事前の意見募集」等の実施方法	<p>【事前の意見募集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見募集は全市民を対象に、積極的に実施する。 ・地域によって出てくる意見に差があると思うが、その差を地域の実態と捉え、どのような点を重要と考えているかを明確にして協議できるとよい。 ・総花的で感情的な回答が多くならないよう、設問内容は具体的なものとしたい。 <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々から直接意見を聞く重要な場であり、納得を得られた協議にすることが大切である。 ・他市の先行事例から得た良い点や改善点などを話の中に取り入れることで、加須市の取組が身近なものとして捉えてくれるのではないか。 ・スクールバス等通学に係る事項については、付帯事項として最初に取り上げてほしい。 <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童数が少ない学級・学校よりも適正規模の学校の利点を事前に明示しておかないと感情的な意見が多くなる。 ・小規模の学校と適正規模の学校における「経験格差」の問題は非常に大きいため、学校再編することの利点をしっかりとご理解いただいた上で意見を伺えるとよい。 ・予め事前の意見を募集した上で保護者や地域住民との意見交換会を行うことは、スピード感があっていいと思った。 ・なるべく早く実施し、地域住民や子どもたちにも現状と今後を伝えてほしい。

- ・ 審議会では、委員の皆さんの積極的な参加があり、非常に有意義な協議が進められている。今後も、協議の目的・ねらい・ポイントを明確にした話し合いができるとうい。
- ・ 児童生徒数の推移はひとつの目安となることから、市民に知ってもらうことは大切であるとする。
- ・ 教員として現状をどう見ているのか聞いてみたい。
- ・ 先行している自治体から学校再編の取組結果や改善点などを学び、生かせるとうい。
- ・ 法整備が進み、送迎バスの空き時間を路線バスなどとして活用できるようになる。深谷市では、路線バスの新たな取組を開始している。学校再編の対象地域に対し、スクールバスを駅や病院と結ぶ路線バスとして活用することで、交通の利便性向上が図られるかもしれない。

「魅力ある学校像」のキーワードと具体例について

1 こどもたちが学ぶ楽しさや喜びを実感し、学びを通して豊かな社会性を育む学校

確かな学力の定着



「わかった!」「できた!」を実感し、深い学びにつなげる

主体的な学び



こどもたちが自ら興味を持って学び、その楽しさや喜びを実感できる環境

学年・学校を超えた学び



異学年や他校との交流を通じ、上級生はリーダーシップを発揮し、下級生のお手本となる

協働的な学び (グループ学習)



多様な考えや意見に触れ、互いに認め、支え合いながら学びを深める

協働的な学び (体験・校外学習)



観察や実験、学校の内外での体験から、「もっと知りたい!」が生まれる

2 教職員がともに高め合い、こどもたちの日々の成長を喜び合う学校

喜びや感動の共有



教員がこどもに寄り添い、学びを深めることで、こどもの確かな成長を喜び合う

指導体制の充実



多様な世代が協働する職場環境のもと、複数・教科担任制を通じて、組織全体でこどもの成長を支える

教職員同士の 学び合い・支え合い



先輩や管理職へ気軽に相談できる安心感のもと、教員が互いに学び、高め合える職場づくり

多様な人材との連携



地域で活躍する方々や外部講師との連携による授業を通じて、学びの幅を広げる

ゆとりのある職場、 多様な働き方



教員が心にゆとりを持ち、こどもたち一人ひとりとじっくり向き合える環境

3 保護者や地域の人たちが信頼を寄せ、地域から愛される、地域とともに歩む学校

地域との連携・協働



学校が核となって地域をつなぎ、地域の人材を活用した教育活動を展開する

地域の見守り



地域の方による登下校時のあいさつや見守り活動を通じて、こどもと地域が「顔の見える関係」を育む

学校地域の相互交流



学校と地域が行事への参加や施設訪問などの交流を通じて、相互理解と信頼関係を深める

学校施設の開放



災害時だけでなく、日常的に地域住民が集い交流する開かれた学校づくり

地域への 情報発信・意見交換



地域への丁寧な情報発信や、学校運営協議会など意見交換の場の充実

4 安全・安心で、笑顔あふれる学校

活気のある学校生活



元気なあいさつが響き合う、笑顔あふれる学校生活

安全で快適な 学校施設の充実



施設の老朽化への対応など、こどもたちが心身ともに安心して学べる快適な学校環境

安全・安心な通学環境



地域と連携した見守りや声かけと最適な通学により、こどもたちが安心して登下校できる環境

ダイバーシティの 尊重・推進



障害や国籍の垣根を越え、多様なこどもたちが共に楽しく学ぶ

居場所がある学校



すべてのこどもたちが、自分の居場所があると感じられる学校づくり

主な学校形態の概要について

【参考】

魅力ある学校づくりを目的とした学校再編の取組において、今後、新たな学校形態の導入も含め検討していく予定です。

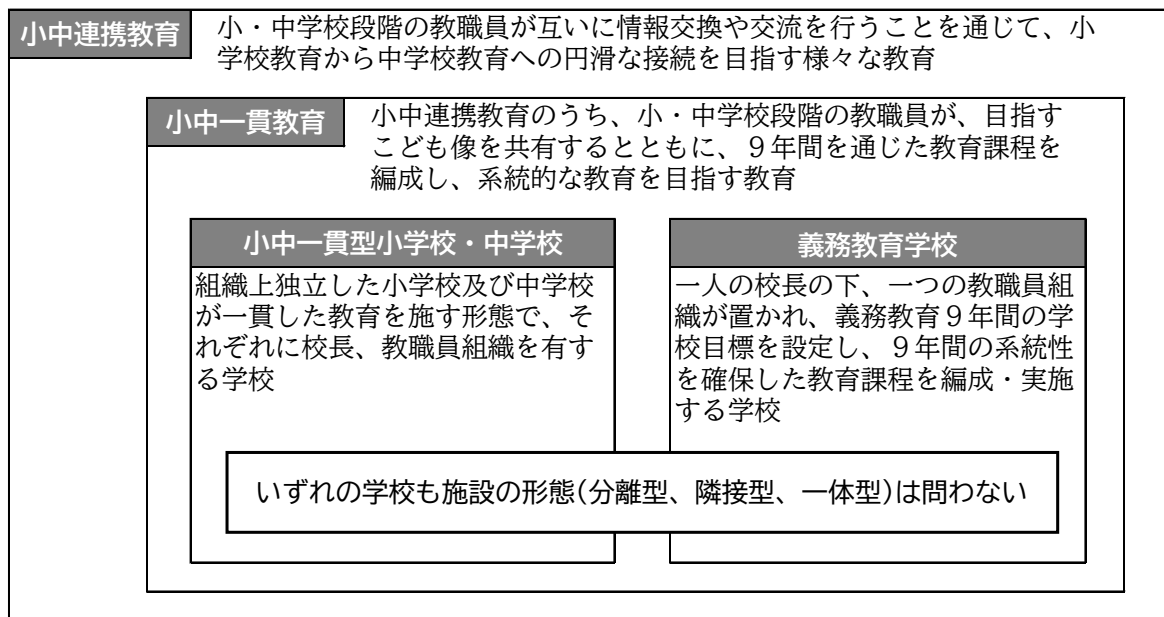
主な学校形態の概要については、以下のとおりです。

1 小中一貫型小学校・中学校及び義務教育学校

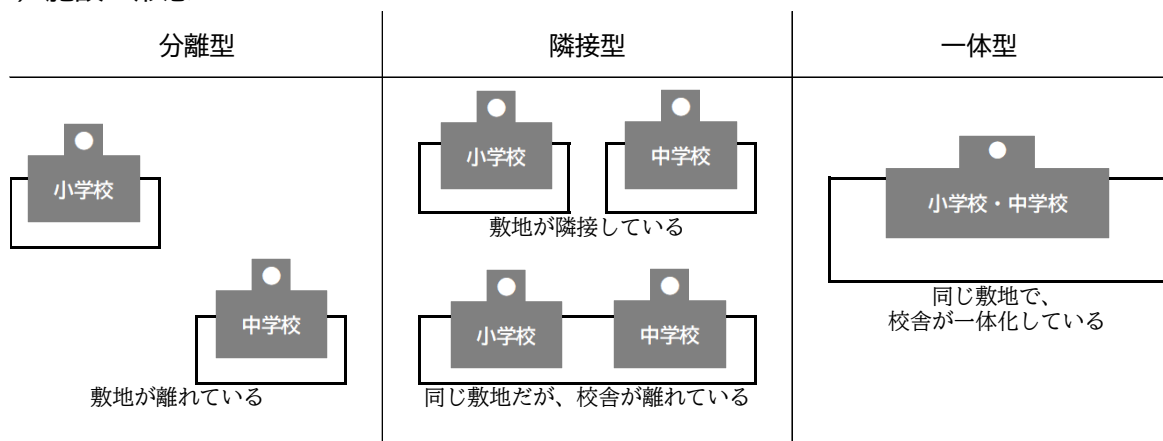
(1) 小中一貫教育制度における形態

小中一貫教育制度において、「小中連携教育」及び「小中一貫教育」の関係を整理すると、下図のようになります。

- ・本市における小中一貫教育は、「小中連携教育」に該当します。
- ・「小中一貫教育」は、「小中連携教育」のうちの一つであり、小中一貫教育を行う学校は、「小中一貫型小学校・中学校」と「義務教育学校」に分けられます。
- ・施設の形態は、小中一貫型小学校・中学校、義務教育学校のいずれの学校も、施設分離型や施設隣接型、施設一体型といった形態は問いません。



(2) 施設の形態

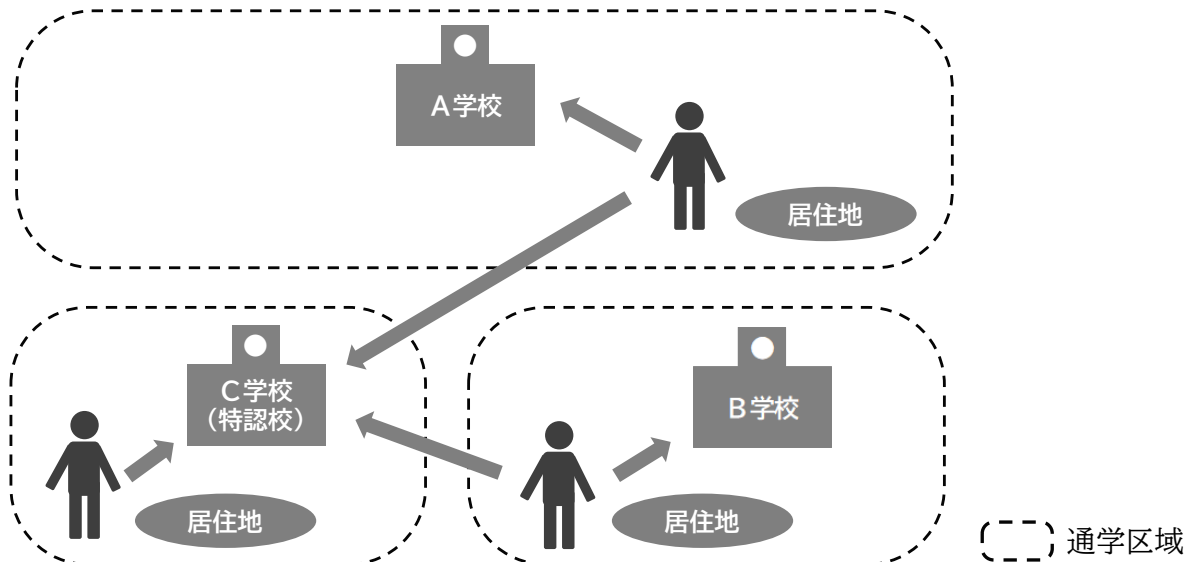


2 小規模特認校

小規模特認校制度は、学校選択制の一つである特認校制を小規模校で実施するもので、特定の学校を「特認校」として市が指定し、少人数での教育の良さを生かした、きめ細やかな指導や特色ある教育を行うものです。

このような環境での教育を保護者や児童生徒が希望する場合は、従来の通学区域を残したままで、学校選択制の一つとして市内のどこからでも就学を認めるものです。

※C小学校が「小規模特認校」の場合



3 学びの多様化学校

学びの多様化学校とは、不登校児童生徒の実態に配慮した特別な教育課程の編成が文部科学省で認められている学校です。

独自の教科を新設したり、授業時間数を柔軟に調整したりできる点が特徴です。

一般の小学校・中学校、高等学校と同様に卒業資格が得られます。

市域のブロック(エリア)分けの候補案について【グループ協議】

1 第4回審議会(3/18)のグループ協議の結果

「市域全体をいくつかのブロック(エリア)に分けるとしたら、どのようなブロック分けが考えられるか。」をテーマに、3つのグループに分かれ協議いただいた。グループ協議の結果は以下のとおり。

グループ	グループ協議で出た意見
A	<ul style="list-style-type: none"> ・①北川辺、②大利根と加須北中学校区、③東武伊勢崎線の北、④騎西を含む東武伊勢崎線の南の4ブロック ・再編による子どもたちへの影響を最小限にすべきではないか。 ・現状に捉われず未来を見て、よりよい教育環境を目指し再編すべき。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・①北部、②中部、③南部の3ブロック ・①北川辺と大利根、②③加須で2ブロック、④騎西の合計4ブロック ・現在の中学校区を生かした8ブロック ・加須市が目指すまちづくりの方向性が見えないと議論が難しい。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・加須、騎西、北川辺、大利根といった地域性を優先すべきではないか。 ・利根川や鉄道といった地理的特性の観点も重要ではないか。 ・児童生徒数の推移を中心とした数合わせの議論では、現在の小学校区と違ったものとなる可能性があり、難しいのではないか。 ・ 現在の状況が続くものではないので20年後を見据えるのは難しい。 ・中学校区をベースに学校形態の検討も必要だろう。また、再編を進めるに当たっては優先地区の検討も必要ではないか。

2 ブロック分け候補案

- ・ブロック(エリア)分けの最少単位を「小学校区」を前提に、第4回審議会のグループ協議の結果を踏まえ、4つの候補案(図1～図4)を整理した。
- ・なお、ブロック分けは、優先順位を整理するために行うものであり、同一ブロック内の学校を一つに統合することを前提としたものではない。

3 本日のグループ協議の内容

協議内容 以下の視点a～cをもとに、4つの候補案のうち、望ましいと思う候補案はどれか。

視点a 「子どもたちへの影響」

⇒通学距離や通学区域の連続性、学習環境の変化など子どもたちへ影響

視点b 「地域性、地域コミュニティとの結びつき」

⇒生活圏のまとまり、自治会単位など地理的・歴史的なつながり

視点c 「学校の持続可能性」

⇒20年後も存続し続ける学校配置など、長期的な視点による持続可能性

- ・再編の対象となる学校や実施時期、学校形態など、ブロックごとに学校再編の具体について審議するのは次回以降となりますが、まずはa～cの視点をもとに考えた場合、望ましいと思う候補案はどれか。そう考える理由も含め、グループで話し合いをお願いします。

【グループ協議】

【手順1】アイスブレイク（目安5分）

- ・グループ協議に入る前に、場の雰囲気や和ませる意味で、まずは新年度を迎え思うことや気になる出来事などを交えながら、自己紹介し合ひましょう。

【手順2】自分の考えを整理（目安5分）

- ・視点[a]～[c]それぞれを基本に考えた場合、望ましいと思う候補案はどれか。そう考える理由も含め、自分の考えを整理しましょう。

視点	望ましいと思う候補案	そう考える理由
[a]子どもたちへの影響		
[b]地域性、地域コミュニティとの結びつき		
[c]学校の持続可能性		

【手順3】グループ内でそれぞれの考えを発表・まとめ（目安30分）

- ・グループ内でそれぞれの考えを発表し、望ましいと思う候補案はどれか。そう考える理由も含め、グループの意見としてまとめましょう。

視点	望ましいと思う候補案	そう考える理由
[a]子どもたちへの影響		
[b]地域性、地域コミュニティとの結びつき		
[c]学校の持続可能性		

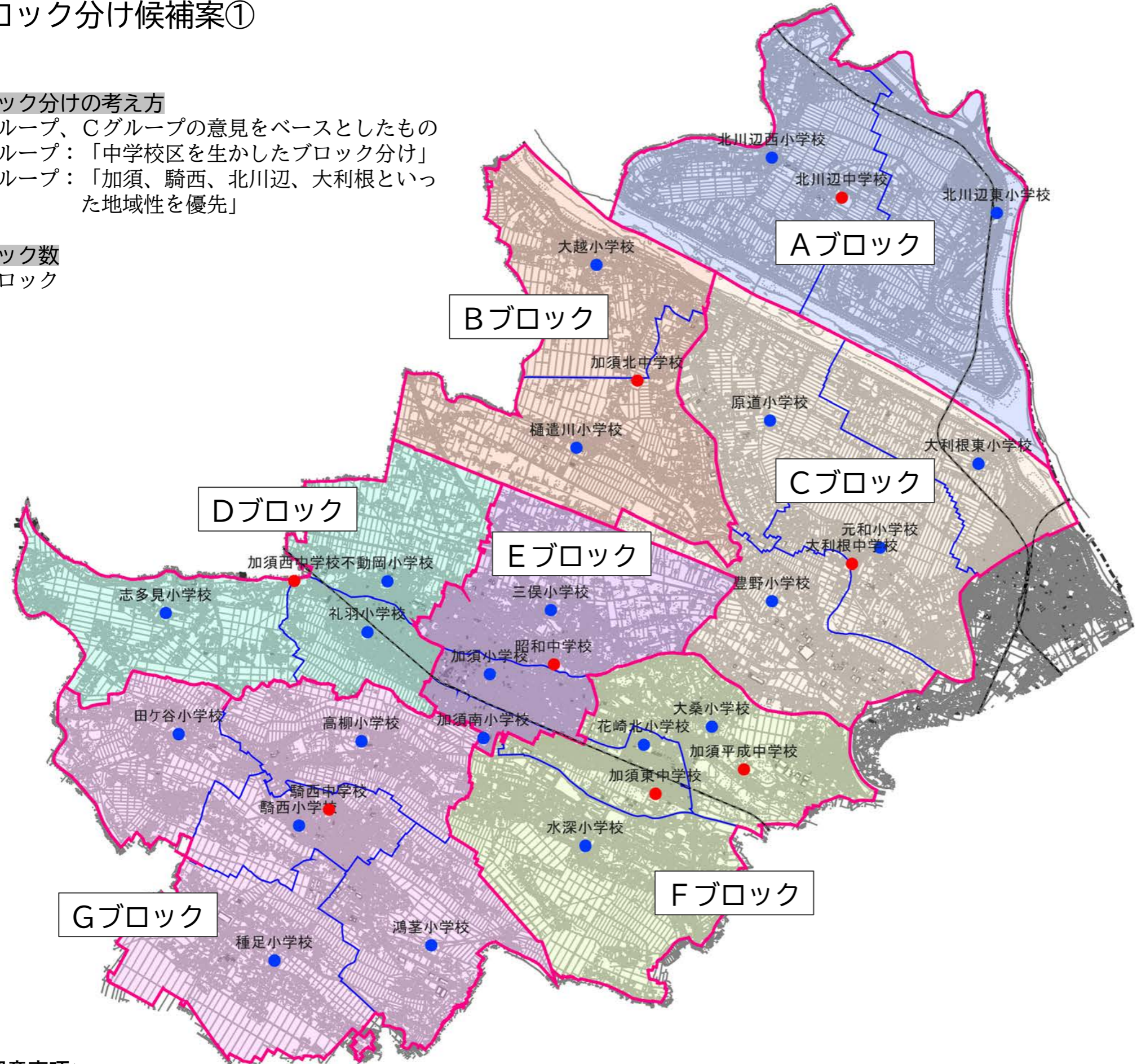
【手順4】グループごとに発表（各3分）

ブロック分け候補案①

ブロック分けの考え方

Bグループ、Cグループの意見をベースとしたもの
 Bグループ：「中学校区を生かしたブロック分け」
 Cグループ：「加須、騎西、北川辺、大利根といった地域性を優先」

ブロック数
 7ブロック



Aブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
北川辺中学校	209	132	▲ 77	▲36.8%
北川辺西小学校	148	90	▲ 58	▲39.2%
北川辺東小学校	145	101	▲ 44	▲30.3%

Bブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
加須北中学校	85	60	▲ 25	▲29.4%
樋遣川小学校	85	54	▲ 31	▲36.5%
大越小学校	38	21	▲ 17	▲44.7%

Cブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
大利根中学校	324	368	44	13.6%
大利根東小学校	213	174	▲ 39	▲18.3%
原道小学校	91	37	▲ 54	▲59.3%
豊野小学校	82	71	▲ 11	▲13.4%
元和小学校	321	357	36	11.2%

Dブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
加須西中学校	323	277	▲ 46	▲14.2%
不動岡小学校	187	104	▲ 83	▲44.4%
礼羽小学校	290	267	▲ 23	▲7.9%
志多見小学校	95	93	▲ 2	▲2.1%

Eブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
昭和中学校	592	476	▲ 116	▲19.6%
加須小学校	367	262	▲ 105	▲28.6%
三俣小学校	510	382	▲ 128	▲25.1%
加須南小学校	152	115	▲ 37	▲24.3%

Fブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
加須東中学校	398	396	▲ 2	▲0.5%
加須平成中学校	309	278	▲ 31	▲10.0%
大桑小学校	472	382	▲ 90	▲19.1%
水深小学校	639	584	▲ 55	▲8.6%
花崎北小学校	227	241	14	6.2%

Gブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
騎西中学校	415	361	▲ 54	▲13.0%
騎西小学校	199	169	▲ 30	▲15.1%
田ヶ谷小学校	129	72	▲ 57	▲44.2%
種足小学校	118	71	▲ 47	▲39.8%
鴻荃小学校	84	66	▲ 18	▲21.4%
高柳小学校	228	172	▲ 56	▲24.6%

<留意事項>

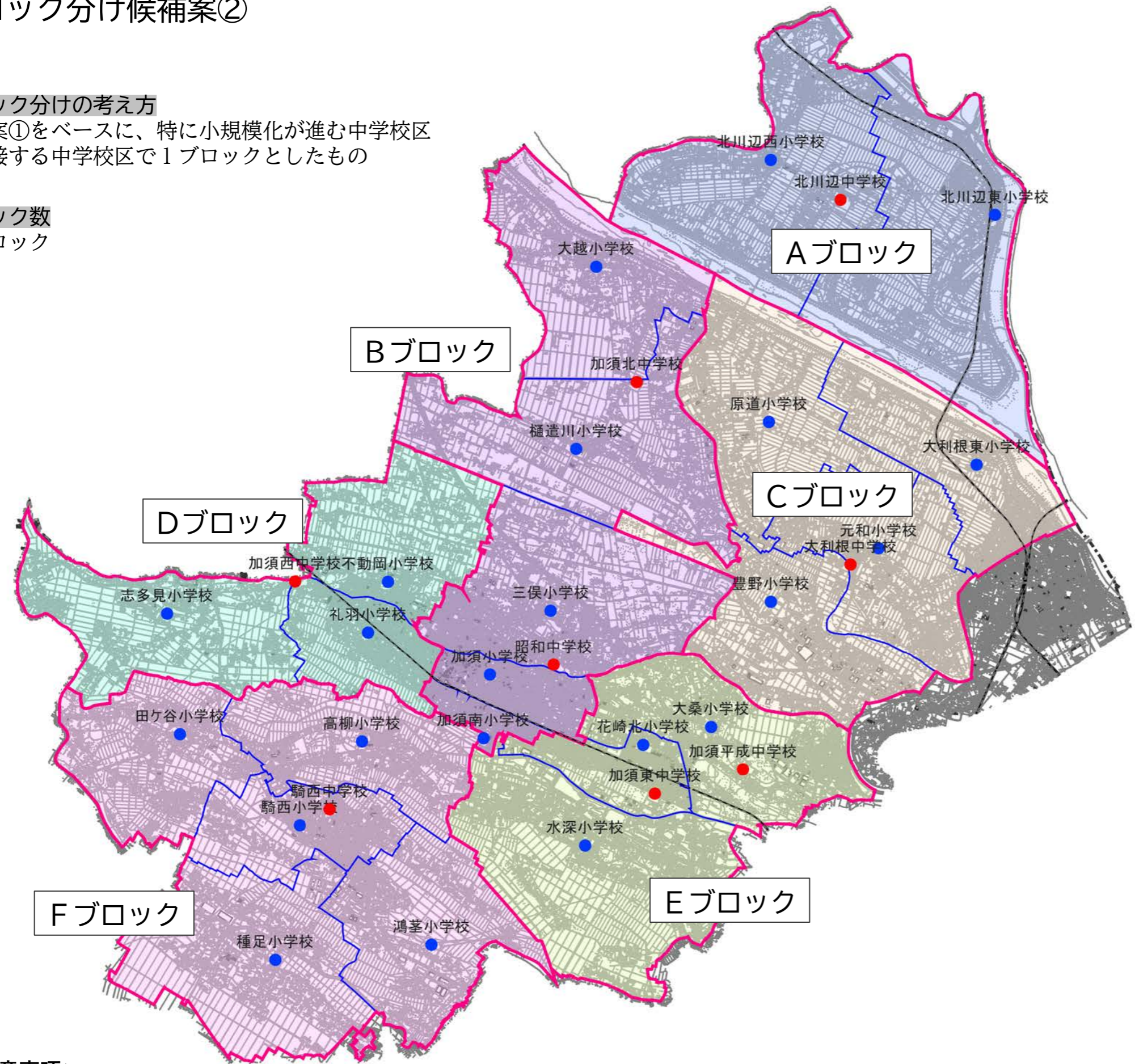
※ブロック分けは、優先順位を整理するために行うものであり、同一ブロック内の学校を一つに統合するということを前提としたものではありません。
 ※通学区域のラインは、あくまでも参考であり、目安として示したものです。

ブロック分け候補案②

ブロック分けの考え方

候補案①をベースに、特に小規模化が進む中学校区と隣接する中学校区で1ブロックとしたもの

ブロック数
6ブロック



Aブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
北川辺中学校	209	132	▲ 77	▲36.8%
北川辺西小学校	148	90	▲ 58	▲39.2%
北川辺東小学校	145	101	▲ 44	▲30.3%

Bブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
昭和中学校	592	476	▲ 116	▲19.6%
加須北中学校	85	60	▲ 25	▲29.4%
加須小学校	367	262	▲ 105	▲28.6%
三俣小学校	510	382	▲ 128	▲25.1%
加須南小学校	152	115	▲ 37	▲24.3%
樋遣川小学校	85	54	▲ 31	▲36.5%
大越小学校	38	21	▲ 17	▲44.7%

Cブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
大利根中学校	324	368	44	13.6%
大利根東小学校	213	174	▲ 39	▲18.3%
原道小学校	91	37	▲ 54	▲59.3%
豊野小学校	82	71	▲ 11	▲13.4%
元和小学校	321	357	36	11.2%

Dブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
加須西中学校	323	277	▲ 46	▲14.2%
不動岡小学校	187	104	▲ 83	▲44.4%
礼羽小学校	290	267	▲ 23	▲7.9%
志多見小学校	95	93	▲ 2	▲2.1%

Eブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
加須東中学校	398	396	▲ 2	▲0.5%
加須平成中学校	309	278	▲ 31	▲10.0%
大桑小学校	472	382	▲ 90	▲19.1%
水深小学校	639	584	▲ 55	▲8.6%
花崎北小学校	227	241	14	6.2%

Fブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
騎西中学校	415	361	▲ 54	▲13.0%
騎西小学校	199	169	▲ 30	▲15.1%
田ヶ谷小学校	129	72	▲ 57	▲44.2%
種足小学校	118	71	▲ 47	▲39.8%
鴻基小学校	84	66	▲ 18	▲21.4%
高柳小学校	228	172	▲ 56	▲24.6%

<留意事項>

※ブロック分けは、優先順位を整理するために行うものであり、同一ブロック内の学校を一つに統合するということを前提としたものではありません。

※通学区域のラインは、あくまでも参考であり、目安として示したものです。

ブロック分け候補案③

ブロック分けの考え方

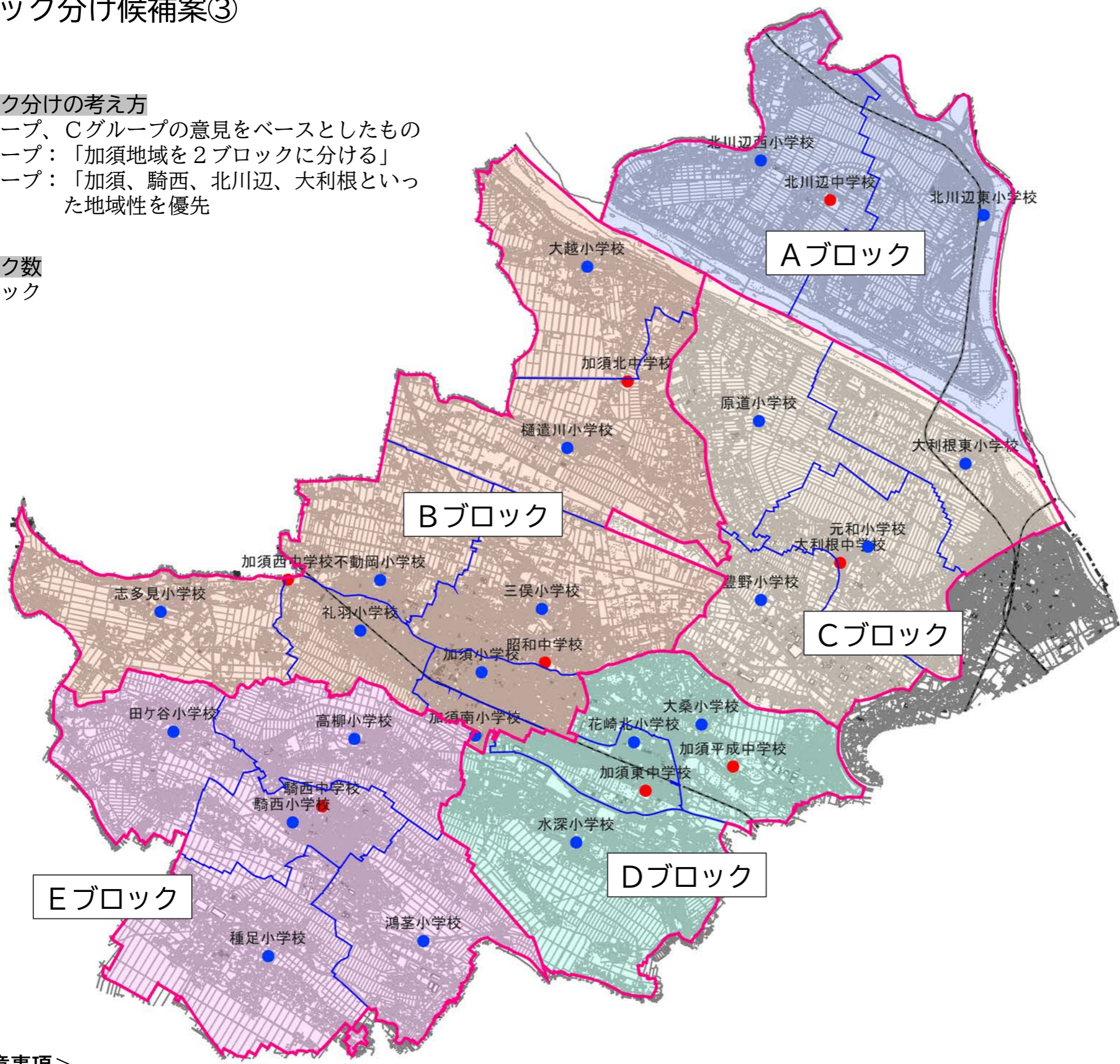
Bグループ、Cグループの意見をベースとしたもの

Bグループ：「加須地域を2ブロックに分ける」

Cグループ：「加須、騎西、北川辺、大利根といった地域性を優先」

ブロック数

5ブロック



Aブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
北川辺中学校	209	132	▲ 77	▲36.8%
北川辺西小学校	148	90	▲ 58	▲39.2%
北川辺東小学校	145	101	▲ 44	▲30.3%

Bブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
昭和中学校	592	476	▲ 116	▲19.6%
加須西中学校	323	277	▲ 46	▲14.2%
加須北中学校	85	60	▲ 25	▲29.4%
加須小学校	367	262	▲ 105	▲28.6%
三俣小学校	510	382	▲ 128	▲25.1%
加須南小学校	152	115	▲ 37	▲24.3%
不動岡小学校	187	104	▲ 83	▲44.4%
礼羽小学校	290	267	▲ 23	▲7.9%
志多見小学校	95	93	▲ 2	▲2.1%
樋遣川小学校	85	54	▲ 31	▲36.5%
大越小学校	38	21	▲ 17	▲44.7%

Cブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
大利根中学校	324	368	▲ 44	13.6%
大利根東小学校	213	174	▲ 39	▲18.3%
原道小学校	91	37	▲ 54	▲59.3%
豊野小学校	82	71	▲ 11	▲13.4%
元和小学校	321	357	▲ 36	11.2%

Dブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
加須東中学校	398	396	▲ 2	▲0.5%
加須平成中学校	309	278	▲ 31	▲10.0%
大桑小学校	472	382	▲ 90	▲19.1%
水深小学校	639	584	▲ 55	▲8.6%
花崎北小学校	227	241	▲ 14	6.2%

Eブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
騎西中学校	415	361	▲ 54	▲13.0%
騎西小学校	199	169	▲ 30	▲15.1%
田ヶ谷小学校	129	72	▲ 57	▲44.2%
種足小学校	118	71	▲ 47	▲39.8%
鴻荃小学校	84	66	▲ 18	▲21.4%
高柳小学校	228	172	▲ 56	▲24.6%

<留意事項>

※ブロック分けは、優先順位を整理するために行うものであり、同一ブロック内の学校を一つに統合するということを前提としたものではありません。

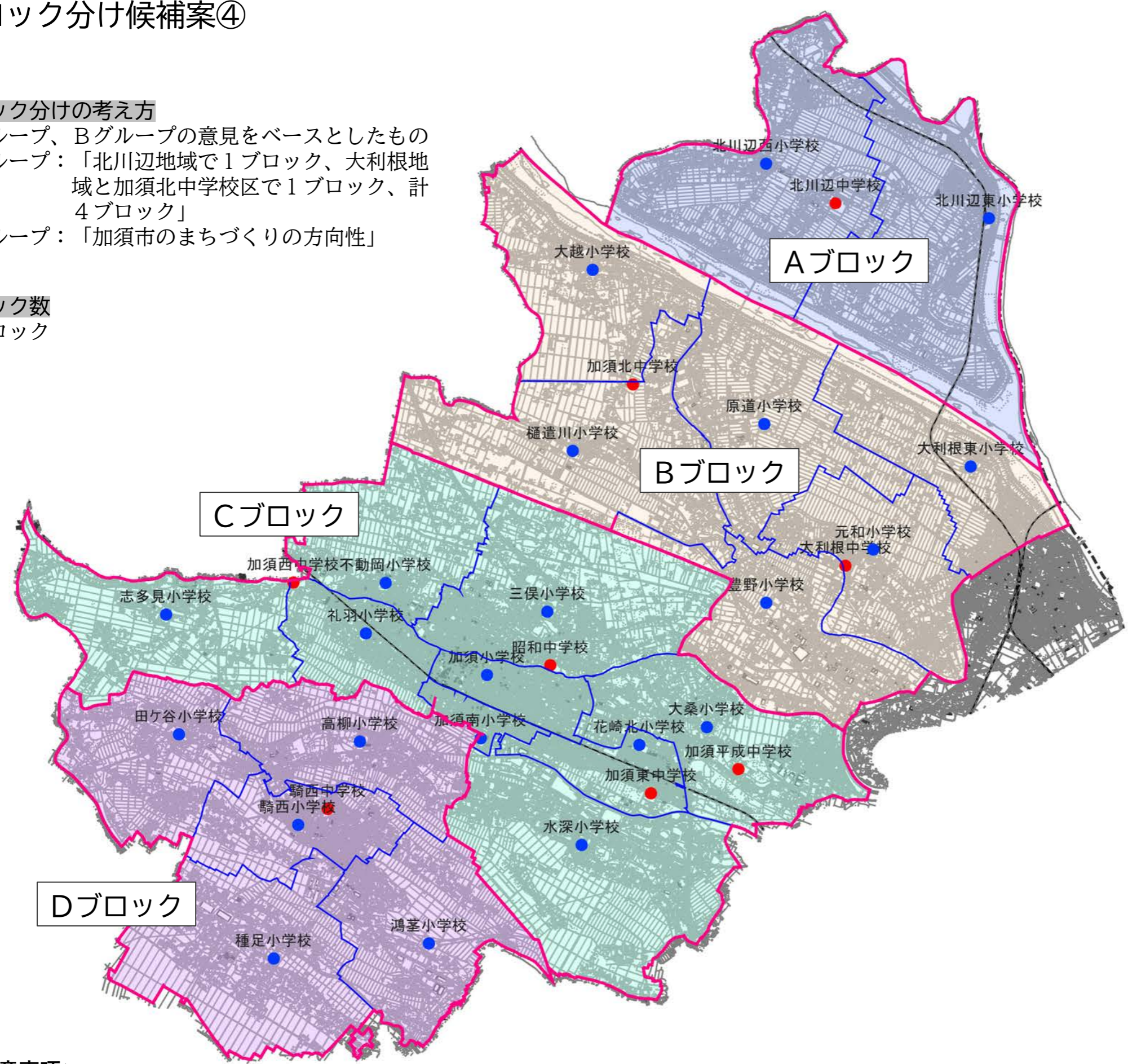
※通学区域のラインは、あくまでも参考であり、目安として示したものです。

ブロック分け候補案④

ブロック分けの考え方

Aグループ、Bグループの意見をベースとしたもの
 Aグループ：「北川辺地域で1ブロック、大利根地域と加須北中学校区で1ブロック、計4ブロック」
 Bグループ：「加須市のまちづくりの方向性」

ブロック数
4ブロック



Aブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
北川辺中学校	209	132	▲ 77	▲36.8%
北川辺西小学校	148	90	▲ 58	▲39.2%
北川辺東小学校	145	101	▲ 44	▲30.3%

Bブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
加須北中学校	85	60	▲ 25	▲29.4%
大利根中学校	324	368	44	13.6%
樋遣川小学校	85	54	▲ 31	▲36.5%
大越小学校	38	21	▲ 17	▲44.7%
大利根東小学校	213	174	▲ 39	▲18.3%
原道小学校	91	37	▲ 54	▲59.3%
豊野小学校	82	71	▲ 11	▲13.4%
元和小学校	321	357	36	11.2%

Cブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
昭和中学校	592	476	▲ 116	▲19.6%
加須西中学校	323	277	▲ 46	▲14.2%
加須東中学校	398	396	▲ 2	▲0.5%
加須平成中学校	309	278	▲ 31	▲10.0%
加須小学校	367	262	▲ 105	▲28.6%
三俣小学校	510	382	▲ 128	▲25.1%
加須南小学校	152	115	▲ 37	▲24.3%
不動岡小学校	187	104	▲ 83	▲44.4%
礼羽小学校	290	267	▲ 23	▲7.9%
志多見小学校	95	93	▲ 2	▲2.1%
大桑小学校	472	382	▲ 90	▲19.1%
水深小学校	639	584	▲ 55	▲8.6%
花崎北小学校	227	241	14	6.2%

Dブロック

学校名	R7	R13	R13-R7	増減割合
騎西中学校	415	361	▲ 54	▲13.0%
騎西小学校	199	169	▲ 30	▲15.1%
田ヶ谷小学校	129	72	▲ 57	▲44.2%
種足小学校	118	71	▲ 47	▲39.8%
鴻釜小学校	84	66	▲ 18	▲21.4%
高柳小学校	228	172	▲ 56	▲24.6%

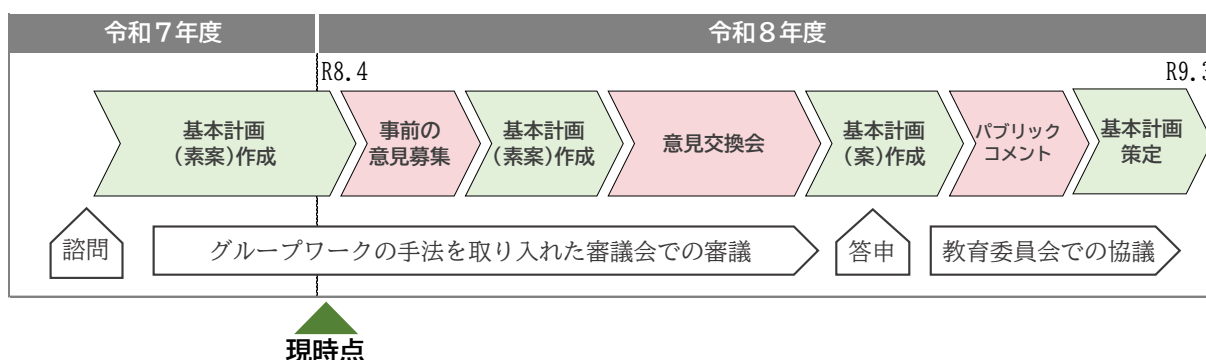
<留意事項>

※ブロック分けは、優先順位を整理するために行うものであり、同一ブロック内の学校を一つに統合するということを前提としたものではありません。
 ※通学区域のラインは、あくまでも参考であり、目安として示したものです。

今後の取組について

1 基本計画策定スケジュール

基本計画策定の主なスケジュールは以下のとおり。



2 基本計画(素案)の作成

基本計画(素案)は、基本計画の核心部分となる、再編の対象となる学校や実施時期、学校形態など、学校再編の具体について整理するもの。

基本計画の核心部分に触れる前の骨子の段階で前もって「事前の意見募集」を5月頃に行い、この意見募集を踏まえ審議会で審議を重ね、基本計画(素案)を8月頃にまとめたいたいと考えている。

その後、基本計画(素案)に対する保護者や地域住民との「意見交換会」の実施を予定している。

なお、現時点における基本計画(素案)の構成案は、資料6のとおり。

3 学校再編ブロックの設定とブロック別優先順位の整理

基本方針のもと、「20年後も存続し続ける学校」という観点から、学校再編の具体を検討するため、学校単位の点ではなく、市域全体をいくつかのブロック(エリア)に分けた面で捉え、ブロック別の優先順位を整理する。

4 事前の意見募集(案)

- 1 目的 ・基本計画の核心部分に触れる前の骨子の段階で前もって、事前の意見募集を行い、審議会における基本計画の核心部分となる学校再編の具体の審議に生かしていく。
- 2 対象 ①児童生徒
②未就学児及び児童生徒の保護者、市立小・中学校の校長・教員、学校運営協議会の委員、自治協力団体の代表者
- 3 実施方法 ①アンケート調査
②基本計画(素案)骨子に対する意見募集

5 意見交換会(案)

- 1 目的 ・基本計画の核心部分となる、再編の対象となる学校や実施時期、学校形態など、学校再編の具体について整理する基本計画(素案)に対する意見交換会を行い、保護者や地域住民との合意形成につなげていく。
- 2 対象 ・保護者や地域住民
- 3 実施方法 ・保護者を対象とする意見交換会、地域住民を対象とする意見交換会、それぞれをブロック別実施(現時点の想定)

加須市魅力ある学校づくり基本計画(素案)
【構成案】

第1章 基本計画策定に当たって

- 1 基本計画策定の目的
- 2 基本計画の位置付け
- 3 計画期間

第2章 持続可能な魅力ある学校づくりに向けて

- 1 本市が目指す「こども像」「魅力ある学校像」
- 2 学校規模の方針
- 3 学校配置の方針
- 4 主な学校形態の概要と特徴
- 5 求められる学校教育の姿

第3章 小・中学校の現状と今後の見込み

- 1 小・中学校の現状
- 2 児童生徒数の推移と将来見込み

第4章 再編計画

- 1 再編の基本となる考え方
- 2 学校再編ブロックの設定
- 3 ブロック別優先順位
- 4 ブロック別再編案

第5章 考慮すべき事項への対応

- 1 児童生徒等への配慮
- 2 安全・安心な通学環境の確保
- 3 教育における地域と学校の連携
- 4 地域における拠点機能の継承
- 5 保護者・地域住民との合意形成

第6章 推進に向けて

- 1 基本計画策定後の流れ
- 2 学校再編の進め方